

東北海区沿岸水温予報(2018年)

海域	経過 (4~5月)	現況(6月上旬~ 6月中旬)	見通し (7~8月)	見通しの背景	特異現象 (漁海況)
三陸北部 (青森県 太平洋沿岸; 青森水総研発表)	・定地水温:4月から5月は平年並みに経過した。	・定地水温は平年並み。 ・6月の津軽暖流の各層水温は表面でかなり低め、50m層でやや低め。東方への張り出しはやや東偏。 ・親潮第1分枝はその分布を西寄りに範囲を広げてきた。 ・6月の対馬暖流域の水温は表面でやや高め。	・津軽暖流域の水温は平年並み~やや高めで推移する。	・FRA-ROMSによると、7月には親潮第1分枝がやや南偏する傾向が予測されている。 ・津軽暖流の張り出しはやや強めの傾向がみられる。	・白糠の棒受網によるイカナゴ漁は、漁期が1カ月ほど遅れ、前年の約86%となった。
三陸中部 (岩手県沿岸; 岩手水セ発表)	【4月】(観測日:4月4日、5日、10日) 《表面水温》 10海里以内は5~10℃台。県南部でやや高めであった。 10海里以東は、県北部では概ね平年並み、県中部ではやや高め~高め、県南部では高めであった。 《100m深水温》 10海里以内は、県北部では平年並み、県中部ではやや高め~高め、県南部では平年並みであった。10海里以東は、県北部では平年並み~やや高め、県中部及び県南部ではやや高め~高めであり、特に県南部沖30~40海里では極めて高い定点があった。 【5月】(観測日:5月9日、10日、15日) 《表面水温》 10海里以内は8~12℃台。県北部では平年並み、県中部から県南部でやや高い~極めて高かった。10海里以東は、県北部では20~40海里でやや低い~低く、50海里は高かった。県中部では高い~極めて高く、県南部ではやや高め~極めて高かった。 《100m深水温》 10海里以内は、全域でやや高め~高めであった。 10海里以東は、県北部沖20~40海里でやや低い~低く、50海里では高かった。県中部及び県南部沖ではやや高い~極めて高かった。	(観測日:5月28日、29日) ※6月分観測を前倒しで実施。 《表面水温》 10海里以内は9~13℃台。全域で平年並みであった。 10海里以東は、県北部から県中部で平年並み~やや低め、県南部でやや高め~高めであった。 《100m深水温》 10海里以内は県中部沖10海里で高め、それ以外は平年並みであった。10海里以東は県北部では平年並み、県中部ではやや高め、県南部ではやや高め~極めて高めであり、特に、県南部沖40~50海里では極めて高かった。	予測される7月の水温は、10m深では全ての0海里定点で平年並み、100m深では県中部から県南部の沖合域でやや高めとなる。	農林水産省「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」において開発した水温経験的予測システムを用いて解析した。	5/21に大船渡地区の定置網において、クロマグロの突発的な水揚げ(480尾)があった。 4~5月に県南を中心にサバ類の水揚げが増加した。
三陸南部 (宮城県沿岸; 宮城水セ発表)	【4月】表層は平年より3~9℃、100mは3~7℃高かった。 【5月】表層は平年より1~5℃、100mは1~6℃高かった。	《表面》 平年より2~5℃程度高め。142°~142°30'Eで特に高くなっている。 《100m》 平年より1~6℃程度高め。142°30'以東、38°30'N以北で特に高くなっている。	《100m水温》 【7月】38°50'N,142°30'E以東の海域で高め、38°30'N,142°30'E以東の海域、38°N,142°E以東の海域でやや高めとなる。 【8月】142°30'E以東、38°30'N以北の海域でやや高めとなる。	水温経験的予測システムの主成分スコア自己回帰モデルによる予測。	北上暖水が強く、高温傾向が続いている。
常磐北部 (福島県沿岸; 福島水セ発表)	4月は全定線で観測が未実施となり、詳細な状況は不明である。 5月は表層では平年並みであり、定線別(鵜ノ尾埼、富岡、塩屋埼)でも全て平年並みであった。 100m深ではやや低めであり、鵜ノ尾埼では平年並み、富岡ではやや低め、塩屋埼では低めであった。 2014年4月の沿岸水温予報において、4~6月は「平年並み~高め基調で推移するが、6月の相馬海域は低め基調となる。」と予測した。 黒潮系暖水の波及が予想より弱かったことから、双葉、いわき海域の沖合を中心に予測と異なる結果となった。	6月の観測の結果、おおむね相双海域の沖合域ではやや低め、その他は平年並みであった。	平年並み~低め基調で推移する。	6月に海洋観測で得た水温を用いて自己回帰分析を実施した結果、7~8月は海域全体で「平年並み」となった。 一方、気象庁の1カ月予報(6/10発表)において、親潮先端は39N、143E付近、面積は平年並みと予測されている。 一方、FRA-ROMSによる8月中旬までの予測をみると、黒潮統流の波及は常磐南部海域までとなり、常磐北部海域は親潮系冷水の波及が優占することが示唆	特になし。

				されている。 これらのことから、7～8月は 平年並み～低め基調で推 移すると予測した。	
常磐南部 ～鹿島灘 (茨城県沿岸； 茨城水試発表)	4月は、前月に発生した暖水波及の 影響が残り、概ね全層全域で「平年 並み～やや高め」となった。 5月は、沖合から暖水が波及し、会 瀬～大洗定線では「平年並み～高 め」、鹿島～犬吠埼定線では「平年 並み～やや高め」となった。	6月は、概ね全層全域で「平 年並み～高め」であり、特に 大洗～犬吠埼定線の沖合 の50～200m深では平年より 高かった 会瀬定線の表層の東経 141° 付近では、平年と比 べて極めて高い地点がみら れた。	【7月】 「平年並み～やや高め」 で推移する見通し。 【8月】 表層は全域で「平年並み ～やや高め」 下層は会瀬～大洗で「平 年並み～やや低め」、鹿 島～犬吠埼で「平年並み ～やや高め」で推移する 見通し。	①FRA-ROMSによると、7 月上旬の水温は表層・ 100m深ともに「平年並み～ やや高め」。8月上旬の水 温は表層で「平年並み～や や高め」だが、100m深では 北部で冷水の南下があり、 平年よりやや低くなると予想 されている。 ②気象庁の海面水温・海流 1か月予報(6/8発表)によ ると、「本州東方の水温は平 年より高い」、「親潮の面積 は平年よりかなり小さい」と 予想されている。 気象庁5月25日発表の 「関東甲信地方3か月予報」 によると、6～8月の気温は 「高い」確率が50%である (平年並み：30%，低い： 20%)。	①6月の会瀬 定線の沿岸部 の表層水温 が、平年に比 べて6.0～ 7.0℃高く、観 測史上最高と なった。 ②6月上旬、 那珂湊定地 水温が18.4～ 20.6℃と、近 年で最高とな った。 ③本県沿岸 域で、カツオノ エボシが5月 下旬に見られ た。

各階級の水温平年偏差の範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部		三陸南部	常磐北部	常磐南部～鹿島灘
		距岸10海里内	距岸10～70海里			
極めて高い(2.5%)	+3.1℃～	+3.7℃～	+5.8℃～	+5.7℃～	+4.8℃～	+6.1℃～
高い(7.5%)	+2.0～+3.0℃	+2.4～+3.6℃	+3.8～+5.7℃	+3.7～+5.6℃	+3.1～+4.7℃	+4.0～+6.0℃
やや高い(20%)	+0.8～+1.9℃	+1.0～+2.3℃	+1.5～+3.7℃	+1.5～+3.6℃	+1.2～+3.0℃	+1.6～+3.9℃
平年並(40%)	+0.7～-0.7℃	+0.9～-0.9℃	+1.4～-1.4℃	+1.4～-1.4℃	+1.1～-1.1℃	+1.5～-1.5℃
やや低い(20%)	-0.8～-1.9℃	-1.0～-2.3℃	-1.5～-3.7℃	-1.5～-3.6℃	-1.2～-3.0℃	-1.6～-3.9℃
低い(7.5%)	-2.0～-3.0℃	-2.4～-3.6℃	-3.8～-5.7℃	-3.7～-5.6℃	-3.1～-4.7℃	-4.0～-6.0℃
極めて低い(2.5%)	-3.1℃～	-3.7℃～	-5.8℃～	-5.7℃～	-4.8℃～	-6.1℃～